

車両点検基準改正



**スペアタイヤ/スペアタイヤ取付装置
ツールボックスの点検が2018年10月1日より
3か月毎の定期点検*として義務化されます。**

【対象】車両総重量8トン以上のトレーラ/トラックと乗車定員30名以上のバス

追加された点検項目と点検実施方法

～事故防止のため、確実な点検・整備をお願いします。～

●スペアタイヤ

※スペアタイヤとは・・・フレームやボディーなど、車外に取付けられている予備のタイヤ

①スペアタイヤ取付装置の緩み、がた及び損傷

※スペアタイヤを取り外し、次の点検を行います。

- ・スペアタイヤ取付装置の取付部に緩みがないかをスパナなどにより点検します。また、損傷がないかを目視などにより点検します。
- ・スペアタイヤ取付装置に緩みがないかをスパナなどにより点検します。また、がたがないかを手で揺するなどして点検します。さらに、損傷がないかを目視などにより点検します。
- ・スペアタイヤのディスク・ホイールについて、ボルト穴や飾り穴の周り及び溶接部に亀裂及び損傷がないかを目視などにより点検します。また、スペアタイヤ取付装置とディスク・ホイール合わせ面に摩擦や損傷がないかを目視などにより点検します。

②スペアタイヤの取付状態

※スペアタイヤを取り付ける際に次の点検を行います。

- ・スペアタイヤ取付装置のハンドルが円滑に回ること及び吊上チェーンにねじれやひっかかりがないことを確認し、規定トルクで締め付けます。
- ・スペアタイヤを取り付けた後、スペアタイヤに異常な傾きがないかを目視などにより点検します。また、スペアタイヤの取付けに緩みがないかをスペアタイヤを強く押すなどして点検します。

●ツールボックス

※ツールボックスとは・・・フレームやボディーなど、車外に取り付けられた工具箱や資材入れ等。
詳細は裏面参照。

③ツールボックスの取付部の緩み及び損傷

※ツールボックスの取付部に緩みがないかをスパナなどにより点検します。また、損傷がないかを目視などにより点検します。

* ここでの定期点検とは、道路運送車両法に基づく法定点検です。

1. ツールボックスの参考事例

事例	構造・取付方法・使用目的等
	板状の箱 フレーム側面へ取付
	エキスパンドメタルの箱 箱の上面はオープン 荷台下のフレーム側面へ取付 主にりん木入れとして使用
	板状の箱 フレーム下面へ取付 主に溝埋め材入れとして使用
	板状の箱 後面はオープン、帯板の飛出し防止付き フレーム後部下面へ取付 主に台車入れとして使用
	板状の箱 側面はオープン、丸棒の飛出し防止付き フレーム側面へ取付 主に台車入れとして使用
	板状の箱(六面体に限らず) フレーム側面へ取付 消火器入れとして使用
	板状の箱 上面はオープン、下面は、すのこ状の板 荷台前立て上前部へ取付 主にシート 入れとして使用
	ペール缶受け 平板を床とし、ペール缶がズレ落ちぬ よう丸棒を円状に配置した専用受け 左写真は巻き込み防止装置へ取付
	上面はオープン、下面は、すのこ状の板 側面及び前面は丸棒で構成のシート 置き トレー単体での輸送効率化 (全長制限)のため折り畳み可能と している

2. ツールボックスに該当しないもの

事例	構造・取付方法・使用目的等
	ウイング扉のパワーユニット (モータ、油圧ポンプ等)ボックス 荷台床面へ取付
	テールゲートリフターの荷台操作 ボックス フレーム側面へ取付 左写真はテールゲートリフターへ取付 したもの 車枠や荷台へ取付けることもある
	テールゲートリフターの荷台操作 ボックス フレーム側面へ取付 左写真はテールゲートリフターへ 取付したもの 車枠や荷台へ取付けることもある
	チェーン掛け チェーンを掛けるためのフック
	消火器受け 平板を床とし、消火器をバンドで 固定する専用受け 左写真は巻き込み防止装置へ取付 たもの
	車輪止め受け(タイヤ歯止め入れ) 平板と帯板で構成された車輪止め (タイヤ歯止め)専用受け 脱落防止の帯ゴム取付け部有り 左写真は巻き込み防止装置へ取付 フレーム側面などへ取付けることも ある

※写真のツールボックスは一例です。
判断がつかない場合には下記の窓口までご連絡ください。

日本フイルハーフ株式会社

お客様相談室

TEL 0120-286887